

## 令和7年度白樺学園高等学校との包括連携協定事業 (1学年) 総括 (案)

### 1 事業の根拠

- (1) 芽室町自治基本条例第3条第6号 (議会と議員活動の原則)
- (2) 芽室町議会基本条例第2条第4項 (基本理念)
- (3) 芽室町議会基本条例第8条第1項 (町民参加及び町民との連携)
- (4) 白樺学園高等学校と芽室町議会の包括連携協定書第1条

### 2 事業目的

包括連携協定に基づき、議員との交流により、議会の仕組みを理解するとともに、まちづくりに参加する機会とし、地域社会の一員としての自覚を持たせ、議場体験を通じ、近い将来の主権者としての意識を高めることを目的とする。

### 3 実施実績 令和8年1月27日(火)～30日(金)の4日間

- (1) 1月27日(火) 1年S組、A組 27名  
担当：総務経済常任委員会 (木村、堀切、菊池、伊藤、早苗、正村、鈴木)
  - (2) 1月28日(水) 1年B組 25名  
担当：厚生文教常任委員会 (中村、小笠原、橋本、渡辺、常通、西尾)
  - (3) 1月29日(木) 1年C組 20名  
担当：総務経済常任委員会 (木村、堀切、菊池、伊藤、早苗、正村、鈴木)
  - (4) 1月30日(金) 1年D組 23名  
担当：厚生文教常任委員会 (中村、小笠原、橋本、渡辺、常通、西尾)
- ※1学年 132名中 95名の参加 (公欠等もあり)

### 4 実施内容

- (1) 議場体験 (模擬議会)
- (2) 議会の概要について説明、質疑応答

### 5 総括 目的は概ね達成できたが、今後に向けては改善の余地がある

実施後の生徒のアンケート結果の傾向や自由記載からも事業の目的である「議員との交流により、議会の仕組みを理解するとともに、まちづくりに参加する機会とし、地域社会の一員としての自覚を持たせ、議場体験を通じ、近い将来の主権者としての意識を高める」ことにつながったと分析評価する。

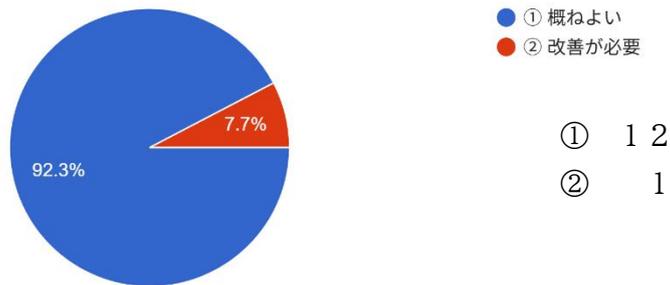
次年度に向けて、実施する意義の議会内での再確認、実施内容、模擬議会の内容協議等、学校側との早い時期から協議を行うことで、より充実した事業実施とする。

令和7年度 白樺高校（1学年）包括連携協定事業 アンケート結果  
（担当議員：回答13名）

令和7年2月16日集計

設問1 当日の運営について（方法、内容、進行など）

設問1 当日の運営について（方法、内容、進行など）  
13件の回答

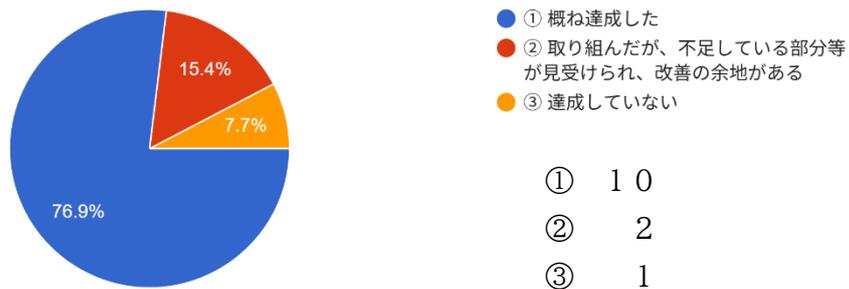


設問1で②を選択した方は具体的に記載ください（1件の回答）

- ・模擬議会のシナリオの改善が必要

設問2 事業評価について（目的の達成度）

設問2 事業評価について（目的の達成度）  
13件の回答



設問2-1 上記で②と③と回答した方は具体的に記載願います（3件の回答）

- ・地方自治とか議会活動とかまちづくりに関して生徒達の思考がイマイチ見えて来ない。
- ・内容改善
- ・本事業については、シナリオ模擬議会終了後に議会の仕組みを説明する時間を設け、生徒が感じたことや意見・感想を質疑応答するなど、一定の工夫を加えながら実施してきました。しかし、白樺学園高校との包括連携協定に基づき議会として掲げている三つの目的、すなわち①「地方自治の担い手意識の醸成」、②「議会活動の認知度向上」、③「まちづく

りに関心を持ち参加する機会の創出」については、現時点では達成できているとは評価できず、私自身の達成度は「まったく達成していない」と考えています。その理由として、まず、生徒は台本を読むことや割り振られた役を演じることに注力せざるを得ない状況にあり、議会や地方自治の仕組みそのものについて主体的に考える段階には至っていないように見受けられます。このため、議会が事業目的として掲げる自治意識の醸成や、まちづくりへの主体的な関心の喚起につながっているとは言い難い状況です。また、本事業は学校との協議・連携のもとで実施しているものの、教育的な体験としての意義が一定程度認められる一方で、議会が掲げる三つの目的の達成状況を評価した場合、必ずしもその成果が明確に表れているとは言えません。生徒から寄せられる「楽しかった」「緊張した」といった感想は、事業への関心や参加意欲の表れとして受け止めますが、地方自治や議会の役割を自分事として捉え、主体的な行動や関心の広がりへとつながっているかという点では、課題が残ると感じています。以上を踏まえると、現行の事業内容や実施手法が、議会として設定した目的の達成にどの程度寄与しているのかを改めて検証する必要があり、今後の継続や内容については、事業全体の在り方を含めた見直しを検討すべき段階に来ていると考えます。

### 設問3 全体を通してお気づきの点、改善が必要な点等、何かありましたらご自由に記載願います（9件の回答）

- ・生徒の感想を見ても、議会やまちづくりへの参画の入口として取組みの意義があることを認識した。議会の説明をする際には、視察対応時のように大型提示装置を活用して資料を具体的かつ視覚的にわかるようにするとより理解が進みやすいのではないかと感じました。
- ・今回の担当1年生からは、活発な質疑があり、議会に対して関心があると感じました。
- ・特に大きな改善点は無いと考えます。グループ1と2の間に解説を入れるのも理解を深めるためには良いかもしれないと思いました。
- ・より成果を上げるためにも、内容も含め体験を“楽しかった”で終わらせず“自分ごととして考える学び”につなげていく必要がある。
- ・生徒(1年生)たちの日常の問題意識を拾えるとよい。
- ・一般質問、条例一部改正について。内容含め、もう少し執行機関側とのやり取りがあると良いと感じた。学校側との協議が重ねることが必要。
- ・生徒達の忌憚のない意見をモット聞きたい。
- ・生徒の質問内容に関心しました。私もお話をさせていただきましたが、参考になったか不安です。自治の大切さを、議場体験から生かして欲しいと思っています。感想も頂きましたが、大変勉強になりました。
- ・特になし